高品質な桃生産の励みに 町産桃「あかつき」32年連続で献上桃に

今年も、町産桃「あかつき」が、皇室献上品として県から指定を受けました。皇室への献上は、平成6年から始まり、今年で32回目。献上桃決定通知交付式が6月10日、役場で行われ、髙橋宣博町長立ち会いのもと、県北農林事務所の宍戸潤一所長からJAふくしま未来の半澤正志伊達地区理事・営農経済委員へ決定通知が交付されました。半澤理事は「皇室宮家に高品質な桃を届けられるよう、生産部会と一丸となって栽培に励む」と決意し、髙橋町長は「地域の宝となった桃をしっかり守り、後世に伝えるべく、農家の皆さんとともに頑張っていく」と祝意を述べました。

1_（左上から）鈴木清志産業振興課長　田中香代子副町長、芳賀武志桑折営農センター長、髙岩和史伊達農業普及所長、（左下から）渡邉弘克伊達地区営農経済部地区部長、髙橋町長、半澤理事、宍戸潤一県北農林事務所長　2_町産桃あかつき

「献上桃の郷」が誇る桃を全国へ 日本郵便㈱カタログ販売で展開

日本郵便株式会社のカタログ商品「ふるさと小包」で、町産桃の新規販売が6月2日から始まりました。この商品は、同社福島県北部地区連絡会がJAふくしま未来協力のもと、福島県や宮城県、東京都の全郵便局などで販売されます。販売開始セレモニーが同日、桑折郵便局で行われ、同会副統括局長・桑折郵便局長の神藤厚さんが「町産桃の販路拡大につなげていきたい」とあいさつし、髙橋町長が祝辞を贈りました。

▶「献上桃の郷 桑折町の桃」として約2、400局で販売

▶髙橋町長へ意気込みを話すミスピーチの皆さん

県産くだものの魅力を発信 2025ミスピーチ来庁

今年で63代目となる「2025ミスピーチキャンペーンクルー」が5月27日、役場を訪れ、町長や職員、来庁者に活動の抱負を述べました。ミスピーチは10人からなり、桃を中心に梨やリンゴなどの県産くだものの イメージアップを図るため、全国各地でPR活動を行います。役場を訪れた5人のミスピーチは「魅力ある県産くだものをより多くの人に知ってもらうために、さまざまな場面でPRに努めたい」と意気込みました。

pickup 各地区小学校運動会

大勢の声援が校庭に響いた小学校の運動会が5月17日、各校で開かれました。家族や卒業生、地域住民の皆さんが、児童らの活躍を応援する中、それぞれが一生懸命に校庭を駆ける姿がありました。